

児童発達支援事業所「ひまわり こころん」 支援プログラム

児童発達支援事業(毎日通園)

令和7年3月31日作成

法人理念	人は一人では生きられません。他の人と関わり社会性を養ってこそ人として生きられるようになります。障がいのある子もない子も、障がいのある人もない人も、お互いを尊重しそれぞれが一人の人間として『その人』らしく生きていくことができる社会、それがわたくしたちの願いです。		
支援方針	「ひまわり こころん」は、心身の発達に心配のある就学前のお子さんを対象に、児童発達支援と保護者への子育て支援、及び地域との連携(支援)を行う施設です。 お子さんが通う日課の中で、信頼できる大人との関係を築きながら、生活や遊びを通して、安心して過ごせるようにしていきます。また、周囲の環境を整え適切な支援を行うことで、「自分でできた」という経験を通して、自信をもって生活できるようにしていきます。		
営業時間	8時30分～16時15分	送迎実施の有無	なし

支援内容・・・以下の要素を取り入れながら、アセスメントに基づく子どもの支援ニーズや現在と当面の生活の状況等を踏まえて、子どもの育ち全体に必要な支援を行います。

本人支援	健康・生活	・ 基本的な生活習慣や、健康で安全に過ごせる生活リズムを身につけられるよう支援します。	
	運動・感覚	・ 年間を通してサーキット・散歩等の活動を取り入れ、様々な姿勢での運動の経験や、個々の課題に必要な運動を盛り込んでいきます。 ・ 小麦粉粘土やかたくり遊びなどの色々な素材を使用した感触遊びや、感覚運動が楽しめる活動を提供します。	
	認知・行動	・ 一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援したり、こだわりや偏食に対する支援を行います。 ・ コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行います。	
	言語・コミュニケーション	・ 職員や友だちと過ごすことで、絵カードやジェスチャー他様々な方法でコミュニケーション手段を獲得できるよう支援を行います。 ・ 子どもの様々な表出を促し、人とのやりとりの楽しさを体験できるよう支援します。	
	人間関係・社会性	・ ひまわり こころんが子どもにとって「安心の基地」の役割を果たせるよう支援します。 ・ 遊び等を通じて社会性や対人関係の芽生えを支援したり、見立て遊びやごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。	
家族支援	・ 子どもとの関わり方や様々な相談について一緒に考え助言します。 ・ 行事や勉強会等を通して、保護者同志の交流(グループワーク等) 子どもへの理解や支援方法を学ぶ機会を提供します。		
移行支援	・ 児の発達に合わせて、一般園への移行支援や、将来的な移行にむけた準備を行います。 ・ 他園と併行利用している場合における利用先との連携を行います。 ・ 交流保育にて同年代の子どもと一緒に遊ぶことで地域での仲間づくりを行います。		
地域支援・地域連携	・ 就学、就園、利用事業所先、各種関係機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整に関する相談援助を行います。		
職員の質の向上	・ 医療スタッフとのカンファレンス、内部研修、外部研修、研修報告会、ケース検討会等を定期的に又は随時行います。		
	毎日通園部	運動会、家族参加会、父親参加会、祖父母参加会、卒園式他	